

「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」は、河川・流域再生に関わる事例・経験・活動・人材等を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい水辺再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的として、2006年11月に(財)リバーフロント整備センターが設立した団体です。また、「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に、アジアの素晴らしい取り組みを日本国内に還元する役割も担います。

目次

	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ 会員寄稿記事	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	5
➤ 会議・イベント案内	6
➤ 冊子・ビデオ等の紹介	6
➤ 会員募集中	7

巻頭書記

本号では、第5回 JRRN 河川環境ミニ講座のご案内と講演テーマである「マージ川流域キャンペーン」の活動についてご紹介します。

また、引き続き「桜のある水辺風景 2010」の写真を募集しておりますのでご投稿お待ちしております。

(締切：平成 22 年 5 月 31 日まで)

新年度がスタートし1ヶ月がすぎましたが、今年度も JRRN 会員皆様の積極的なご支援とご協力をお願い申し上げます。

JRRN 事務局からのお知らせ(1)

第5回 JRRN 河川環境ミニ講座「流域連携による河川再生～イギリス・マージ川流域キャンペーン(仮題)」ご案内 (平成 22 年 5 月 11 日午後開催)

第5回河川環境ミニ講座を開催いたします。本講演では、マージ川流域キャンペーン専務理事である Wallter Menziies 氏を講師にお招きし、「流域連携による河川再生～イギリス・マージ川流域キャンペーン(仮題)」についてご講演いただきます。

Walter Menziies 氏:

マージ川流域キャンペーン(MBC)専務理事

1983 年から北西イングランドにおけるグランドワーク活動でのディレクター等を歴任し、2000 年より現職。MBCは、産業革命の頃から汚染されてきたマージ川流域の再生をめざし、行政・市民・企業が一体となった活動が約25年間続いている。



○ 開催日時：平成22年5月11日14:00～16:00

(講演 1 時間、意見交換1時間)

○ 開催場所：

(財) リバーフロント整備センター会議室

○ 参加料：無料 ○ 通訳：逐次通訳

○ 定員：20名

○ 共催：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)、
(財) リバーフロント整備センター

●問合せ先→ (財)リバーフロント整備センター 沼田
(E-mail: info@a-rr.net Tel: 03-6228-3860)

●詳しくはこちら→

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/5thJRRNseminar.pdf>

(JRRN 事務局 沼田彩友美)

「マージ川流域キャンペーン(Mersey Basin Campaign)」について



再生前の様子



現在の様子

マージ川流域キャンペーン (Mersey Basin Campaign) は、政府主導で 1985 年に始まった、イギリス北西部に位置する河川、運河、河口の浄化と再生の 25 年にもわたる事業です。1970 年代から 1980 年代にかけて、マージ川は西ヨーロッパで最も汚染された河川の一つとされていましたが、世界で初めて統合的再生を目指した流域管理手法が適用され、世界を代表する河川・流域再生の成功事例となりました。

マージ川流域キャンペーンは、マージ川とその北部に位置する Ribble 川を含み、流域にはマンチェスター市、リバプール市、プレストン市などの主要都市が含まれます。マージ川流域キャンペーンは次の 3 つの目的を持って創設されました。

- ・ 流域における水質向上、それにより全ての河川が魚類等の水生生物が活動可能な状態とする
- ・ ビジネス、レクリエーション、居住、観光、歴史的遺産、野生生物にとって、魅力的な水辺環境の開発を促進すること
- ・ 流域において生活、働く人々にとって、魅力的で活気ある水路及び水辺環境であること

これら目的をマージ川流域キャンペーンの基本理念とし、パートナーシップ（連携）を目標達成に向けての鍵と位置づけています。マージ川流域キャンペーンでは、河川・流域再生に向けて、公共・民間及びボランティアレベルでの個人及び組織の連携が実現し、その功績は 1999 年に開催された国際リバーシンポジウムにおける最初の国際 River prize を受賞し、河川・流域再生の国際的模範とされています。



(JRRN 事務局 和田彰)



JRRN 事務局からのお知らせ(2)

『桜のある水辺風景 2010』写真募集 ～ あなたの素敵な一枚をお待ちしています

JRRNでは、水辺の美しさや人々との関わりについて考える機会づくりを目的に、JRRN会員より2010年に撮影された「桜のある水辺写真」を募集し、それらを皆様にご紹介するとともに、JRRNの今

後の活動に活用させて頂ければと思います。北海道から沖縄まで、日本の魅力を再認識させてくれる様な、素敵な桜のある水辺写真をお待ちしております。



○テーマ: 「桜のある水辺風景 2010」 ※2010年に撮影された写真に限定させていただきます

○応募資格: JRRN 会員

○作品規定:

- ・応募はお一人何点でも可能です。ただし応募作品は自ら撮影したものに限りします。
- ・写真サイズはキャビネ以上、デジタル画像であればキャビネサイズ印刷でも鮮明なレベルとします。
- ・個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。

○応募方法:

- ・別紙「応募シート」に、題名、撮影場所、撮影年月、氏名、住所、電話、Email アドレス、写真利用時の個人情報開示条件 をご記入の上、写真と共に以下応募先へ送付下さい。(デジタル画像の場合は応募シートと共に電子メールにて、オリジナル写真の場合は応募シートを同封し郵送願います)

※「応募シート」の Word ファイルは以下からダウンロード可能です。

http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/Photo_form.doc (Photo と form の間は _ “アンダーバー”です)

○応募期間: 平成 22 年 3 月 15 日(月)～平成 22 年 5 月 31 日(月)

○応募作品の取扱いについて:

- ・応募期間終了後に、JRRN ニュースレター上にてご紹介させていただきます。
- ・(撮影者に事前にご連絡の上で)今後 JRRN が発行する手引き等の冊子、またホームページ等で無償で使用させていただきます。
- ・応募作品は返却致しませんのでご了承ください。

○応募先:

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 ロフター中央ビル 7 階
財団法人リバーフロント整備センター JRRN 事務局 担当: 沼田
(E-mail: jrrn-secre@rfc.or.jp Tel: 03-6228-3860)

○個人情報の取り扱いについて

- ・ご記入頂いた個人情報は、作品使用に関するお問い合わせ時に利用させていただきますが、他の目的で利用することはありません。

○問合せ: JRRN 事務局 担当: 沼田 (E-mail: info@a-rr.net Tel: 03-6228-3860)

水辺からのメッセージ No.12

国土文化研究所 主任研究員 岡村幸二（JRRN 会員）

生態系を文化に取り込む

若々しい桜並木と質の高い小道に囲まれた河川の景観軸



撮影：2010年4月5日（山口県山口市・一の坂川）

◆美しい河川の代名詞

1970年代に「一の坂川」といえば、ホテルの飛び交う河川の先進事例としていつも話題の中心にありました。その後訪れるたびに、町並みの美しさもレベルアップをしています。川沿いの道路は華やかな花壇で飾られ、落ち着いたモノトーンの舗装材。沿川の家並みも1軒1軒がしゃれていて景観的に調和しています。

※場所は県庁のすぐ東側、国宝瑠璃光寺五重塔がある。

※国土文化研究所は、株式会社建設技術研究所のシンクタンク組織です。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。（JRRN 事務局）

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ

【JRRN 会員からの提供情報】



<http://www.a-r-r.net/jp/exchange/news/2094.html>

JRRN 個人会員より、アメリカ・エバーグレイズ再生に関する報道記事情報を御提供頂きました。この英文記事の日本語仮訳資料もご提供頂きましたので、以下よりダウンロード可能です。（言語：日本語）

→<http://www.a-r-r.net/jp/exchange/docs/04-0036.pdf>

【JRRN 会員からの提供情報】



JRRN 会員より「印旛沼里山ウォーキングマップ」に関する情報を御提供頂きました。

悪化した水質ばかりが声高に叫ばれている印旛沼ですが、流域には、知る人ぞ知るすばらしい里山環境がまだ数多く残っています。

※詳細は以下参照

<http://www.a-r-r.net/jp/exchange/news/2090.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

JRRN 団体会員である社団法人日本河川協会から「河川文化を語る会」のイベント案内です。

【第 144 回】

- ◆テーマ：「ラムサール条約湿地に登録された「秋吉台の地下水系」～地下川の自然を探る～」
- ◆講師：庫本正氏（秋吉台科学博物館 名誉館長）
- ◆日時：平成 22 年 5 月 29 日（土） 14:10～16:10
- ◆場所：山口県旧県議会議事堂

【第 145 回】

- ◆テーマ：「歴史事象としての河内の洪水と大和川の付け替え～洪水対策 300 年事後評価」
- ◆講師：佐藤 洋一郎氏（総合地球環境学研究所副所長）
- ◆日時：平成 22 年 6 月 21 日（月） 18:00～20:00
- ◆場所：厚生会館（全国土木建築健保）

○申込／問合わせ：（社）日本河川協会

URL：<http://www.japanriver.or.jp/>

【JRRN 会員からの提供情報】



JRRN 個人会員である「矢部川をつなぐ会」事務局長様より、矢部川をつなぐ会発行「矢部川新聞第 2 号」を御紹介頂きました。

※詳細は以下参照

<http://www.a-r-r.net/jp/exchange/book/2098.html>

【海外からの提供情報】



ECRR（ヨーロッパ河川再生センター）の Bart Fokkens 会長より、2009 年 5 月に開催された「ECRR 設立 10 周年記念セミナー」の最終報告書完成のご連絡を頂きました。本報告書では、ECRR としての 10 年間の活動レビュー、そこから得られた教訓、河川再生の意義、また今後の ECRR の展開等が取り上げられ、欧州における河川再生の最新の動向を把握する上で参考となります。

- 10 years ECRR Network “Seminar report”（英語版 PDF 5MB）

→<http://www.a-r-r.net/jp/exchange/docs/10y%20ECRR%20Report%20E.PDF>

なお、2009 年 5 月開催の「ECRR 設立 10 周年記念セミナー」概要は以下に掲載されています。

→ http://www.ecrr.org/lelystad_09.htm#declar

会議・イベント案内 (2010 年 5 月以降)

(ARRN・JRRN 主催・共催の会議・イベント)

■第 5 回 JRRN 河川環境ミニ講座「流域連携による河川再生～イギリス・マージ川流域キャンペーン」

講師：Walter Menzies 氏 (マージ川流域キャンペーン MBC 専務理事)

○開催日時：平成 22 年 5 月 11 日 (火) 14:00～16:00 (講演 1 時間、意見交換 1 時間程度を予定)

○開催場所：財団法人リバーフロント整備センター 会議室

(東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 ロフター中央ビル 7 階、電話：03-6228-3860)

地図はこちら→ <http://www.rfc.or.jp/map.html>

○定員：20 名 (先着順) ○参加費：無料 ○言語：逐次通訳あり (英語・日本語)

○主催：日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)・財団法人リバーフロント整備センター

○問合せ：(財)リバーフロント整備センター 担当：沼田 (E-mail: info@arrn.net Tel: 03-6228-3860)

※ 申込方法等の詳細はこちら→ <http://www.arrn.net/jp/>

(その他の河川再生・河川環境に関する主なイベント)

■外来魚駆除釣り大会 in 淀川

○日時：2010 年 5 月 9 日 (日) 10:00～15:00

○主催：城北水辺クラブ、琵琶湖を戻す会

<http://www.arrn.net/jp/event/02/2105.html>

■「生物多様性保全に向けた応用生態工学からのアプローチ」～COP10 名古屋に向けて

○日時：2010 年 5 月 13 日 (木)～14 日 (金)

○主催：国際ワークショップ実行委員会

<http://www.arrn.net/jp/event/03/2106.html>

■第 144 回 河川文化を語る会『ラムサール条約湿地に登録された「秋吉台の地下水系」』

○日時：2010 年 5 月 29 日 (土) 14:10～16:10

○主催：社団法人 日本河川協会

<http://www.arrn.net/jp/event/03/1921.html>

■第 145 回河川文化を語る会『歴史事象としての河内の洪水と大和川の付け替え～洪水対策 300 年事後評価』

○日時：2010 年 6 月 21 日 (月) 18:00～20:00

○主催：社団法人日本河川協会

<http://www.arrn.net/jp/event/03/2089.html>

■第 18 回リバーフロント整備センター研究所報告会

○日時：2010 年 9 月 10 日 (金)

○主催：(財)リバーフロント整備センター

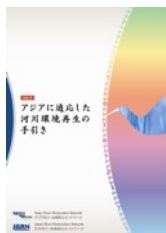
<http://www.arrn.net/jp/event/03/2107.html>

冊子・ビデオ等の紹介

■ アジアに適応した河川環境再生の手引き ver. 1

(2009.3 発刊)

- ・ 発行：アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)
- ・ 価格：無料



ARRN が今後作成を目指す「アジアにおける河川再生技術指針」の入門編として、非専門家の方々にも河川再生の意義やアプローチを理解して頂くことを目的に、写真や図を主体に平易な解説文を添えて作成致したものです。

本手引きをご希望される方は、「(財)リバーフロント整備センター企画グループ」までご連絡ください。送料のみご負担いただいた上で、無料で提供致します。
電話：03-6228-3860 / Fax：03-3523-0640

■ 江戸東京を支えた舟運の路―内川廻しの記憶を探る (2010.4 発刊)

- ・ 著者：難波 匡甫
- ・ 出版社：法政大学出版局
- ・ 発行年月：2010 年 4 月
- ・ 価格：¥ 3,360 (税込)
- ・ ISBN：978-4588780028



本書は、江戸時代の舟運の歴史の紹介を通じ、水際に展開した多彩で豊かな文化の記憶を掘り起こしつつ、東京の水辺再生を提言しています。

会員募集中

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、
所属団体や機関を問わず、河川環境の整備・改善に携
わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

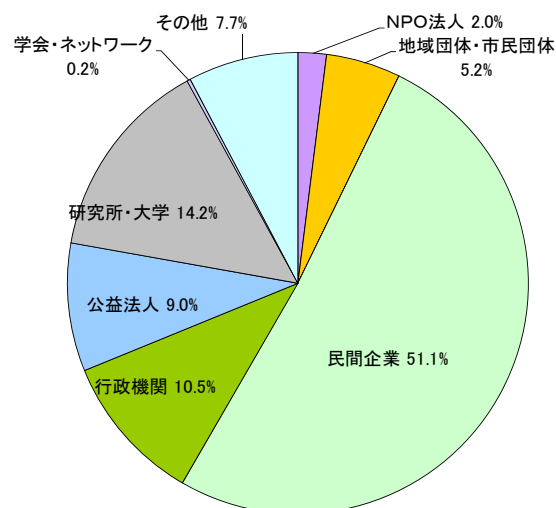
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」を
ご用意しています。

- (1) 国内外の河川環境に関するニュースを集約した
「JRRN ニュースメール」が週に 1 回～2 回メール
配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が
入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参
加することができます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集
の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベ
ント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河
川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支
援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/info/member.html>



2010 年 4 月 30 日時点の個人会員構成
(個人会員数：428 名、団体会員数：18 団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

JRRNが提供するサービス		JRRN 団体会員	JRRN 個人会員	非会員 (一般の方)
1	ホームページへのアクセス及び各記事へのコメント入力※1	◎	◎	◎
2	ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載※2	◎	◎	◎
3	ニュースメール(週2回)の配信※3	◎	◎	×
4	Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信※3	◎	◎	×
5	JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加※4	◎	◎	×
6	国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援※5	◎	◎	×
7	ホームページ「最近の話題・ニュース」及びニュースメール「会員提供情報」欄で 団体が関わる行事や出版、技術や製品等の案内の掲載※6	◎	△※7	×
8	ホームページ「会員登録」「人・組織のつながり」欄及び年次報告書内で団体 名の掲載	◎	×	×
9	ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信※8	◎	×	×
10	JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援※9	◎	×	×

【発行・問合せ先】



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

財団法人リバーフロント整備センター内

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 ロフター中央ビル7階

Tel: 03-6228-3860 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net URL: <http://www.a-rr.net/jp/>